



●地上駅であるが駅舎は連絡橋の橋上にある。駅の橋上化に伴って駅前広場として南側も整備され那珂市のコミュニティバスも乗り入れる。



●1面2線の島式ホーム。



●整備された駅前広場。



Vol.56

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

うり つら

瓜連駅

← ひたちこうのす しず →

常陸鴻巣 静

●次回は12月25日 ※イラストはイメージです。
「大宝駅」を掲載予定です。



古徳沼の白鳥

●白鳥の飛来は年々増えている。1990年には最大で238羽に達した。種類はオオハクチョウとコハクチョウ。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
http://www.ibaraki-isuzu.co.jp



●素戔嗚命(スサノノミコト)を祭神とする。現在の社殿は1788年に再興したもので、地元では疫病を退治する「お天王さま」と親しまれている。

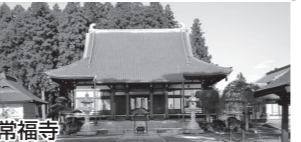
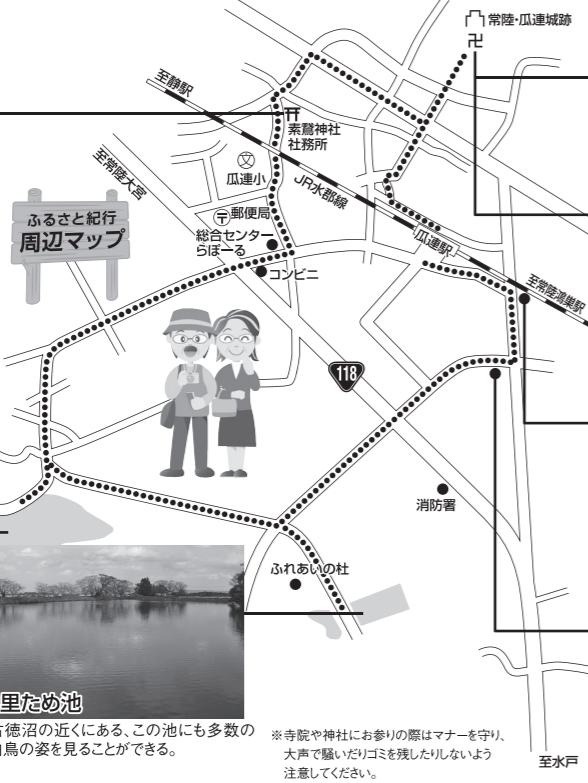


●江戸時代に農業用の池として造られた人工のため池。沼沿いの古徳城跡は静古徳古道として散策路となっている。

● 散策コース ●

まずは駅の北側にある常福寺を目指す。開山は1336年で、当初は春日川のほとりにあり、後に瓜連城跡に移った。後花園天皇から「勅願所」のお言葉、後奈良天皇から寺号「常福寺」の直筆を賜ったほか、徳川家康からは寺領100石が与えられ、水戸徳川家からも菩提所として大切にされた名刹。境内には歴代の水戸藩主を支えた山野辺氏の墓所がある。
素戔嗚神社は疫病を払う「お天王さん」として親しまれ、境内には八幡宮、五蔵王神、稲荷神社など8社がまつられている。

●お問い合わせ / 那珂市役所産業部商工観光課(那珂市観光協会) ☎029(298) 1111 ●企画・制作 / 読売茨城広告社 ☎029(244) 5555



●1405年に瓜連城跡に再建されたが、老朽化のため現在の本堂は平成7年に再建されたもの。



●関東十八壇林に数えられる常福寺の楼門で江戸時代に建造された立派な木組みの門。



●店内には地元の日本酒やビールが豊富に揃う。又、ここはこだわりのコーヒーでも有名。



●材木商を営むオーナーが作ったオリジナルの家具やおしゃれな雑貨が揃う。

次は白鳥が集う古徳沼へ。1966年に2羽の白鳥が飛来して以来、白鳥の数は増加し、近年は100~150羽が訪れる。近くの中里ため池でも白鳥の姿を見ることができる。歴史と自然を堪能したら、帰り道はログフォートと千葉酒店に立ち寄りたい。ログフォートは木をテーマに、家具や雑貨が揃う楽しいお店。千葉酒店は歴史とこだわりがある酒店でありながら、コーヒーが有名。芸術肌の主人が豆を厳選し、絶妙なワザで煎ったコーヒー豆は逸品。



千葉酒店の七蓮(ななうん)ブレンドコーヒー